

令和4年度

**「特別の教科 道徳」(道徳科)の指導の充実**  
～「考え,議論する道徳」の実現のための教師の役割～

大阪市小学校教育研究会 道徳部

# 1. 研究主題について

◎平成30年度から「特別の教科 道徳」(道徳科)が実施  
「**考え, 議論する道徳**」の実現へ向けて,  
大阪市小学校教育研究会道徳部では・・・

○道徳科の教材研究について  
(教材分析シート)

○道徳科の授業構成について  
(ねらいの設定・指導法の工夫・フローチャート図)

○道徳科の評価について  
(評価の在り方・一人一人の児童への配慮)

令和4年度

# 「特別の教科 道徳」(道徳科)の指導の充実

～「考え,議論する道徳」の実現のための教師の役割～

教師の役割として,まとめる

## 2. 教師の役割

◎「考え, 議論する道徳」の実現のための教師の役割

(1) 授業構成

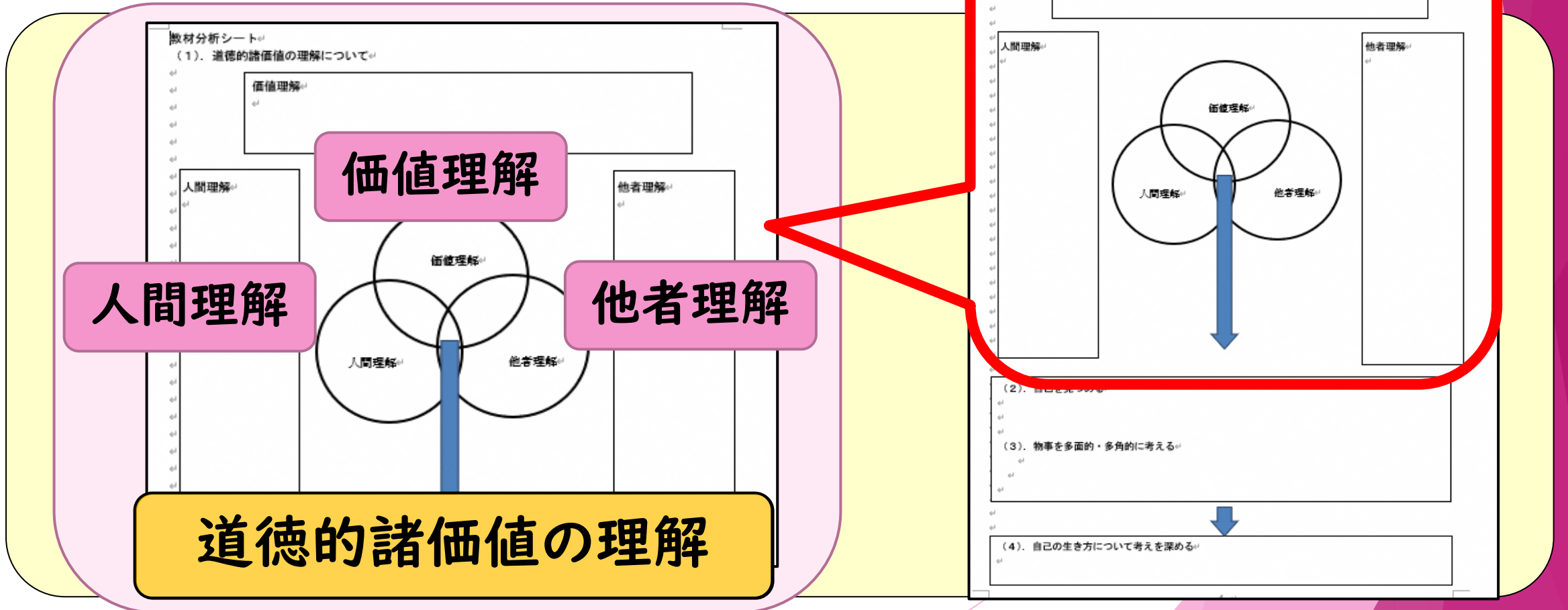
(2) 授業のコーディネート

(3) 評価

## 2. 教師の役割

### (1) 「考え、議論する道徳」の授業構成

#### ① 教材分析とねらいの設定



## 2. 教師の役割

### (1) 「考え、議論する道徳」の授業構成

#### ①教材分析とねらいの設定

#### 具体的な児童の学びの姿

(2). 自己を見つめる

(3). 物事を多面的・多角的に考える

#### 本時のねらい

(4). 自己の生き方について考えを深める

#### 新しい学びや気づきを想定したねらい

### 教材分析シート

(1). 道徳的諸価値の理解について

価値理解

人間理解

他者理解

価値理解

人間理解

他者理解

(2). 自己を見つめる

(3). 物事を多面的・多角的に考える

(4). 自己の生き方について考えを深める

## 2. 教師の役割

(1) 「考え, 議論する道徳」の授業構成

② 発問構成とフローチャートの作成

発問構成

考え, 議論する道徳

主発問

主体的・対話的な学び

登場人物の心情理解のみに終始する授業

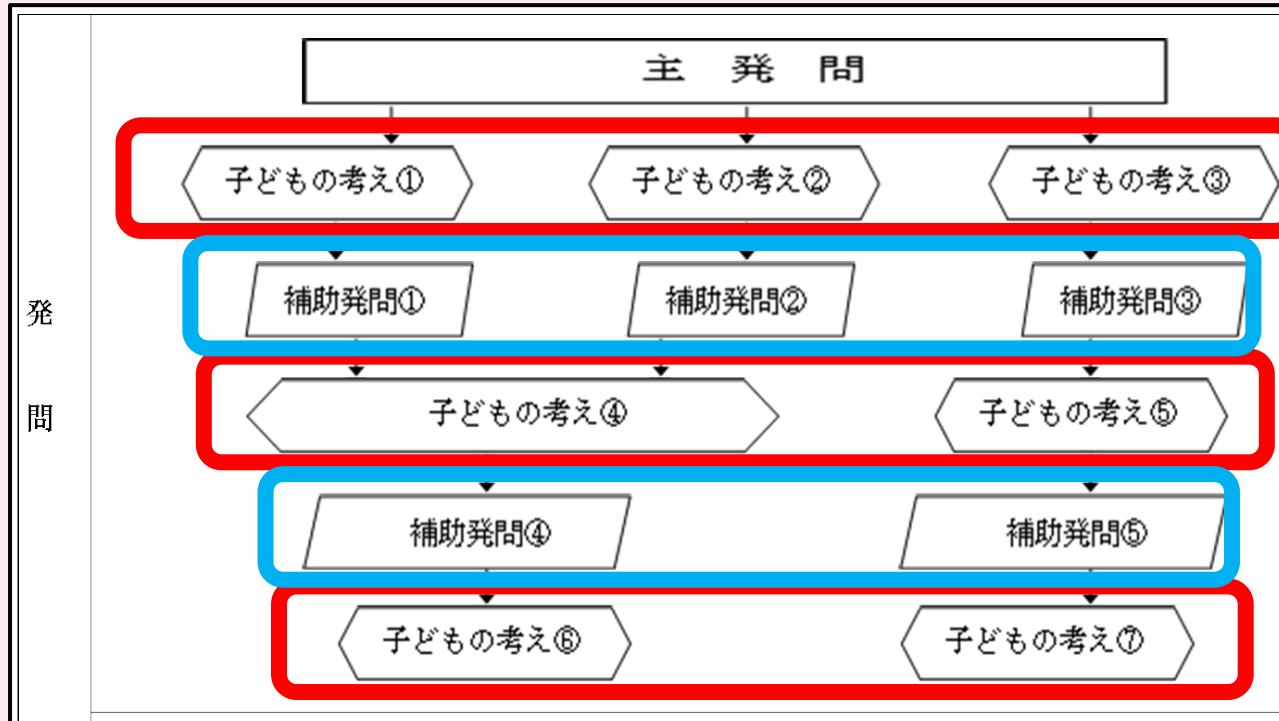
主発問

授業のねらい = 深い学び

## 2. 教師の役割

### (1) 「考え、議論する道徳」の授業構成

### ② 発問構成とフローチャートの作成



児童の実態から、  
発問に対する  
児童の反応を予想

児童の思考の流れ  
を意識した補助発問

発問の意図を的確にとらえることができる



## 2. 教師の役割

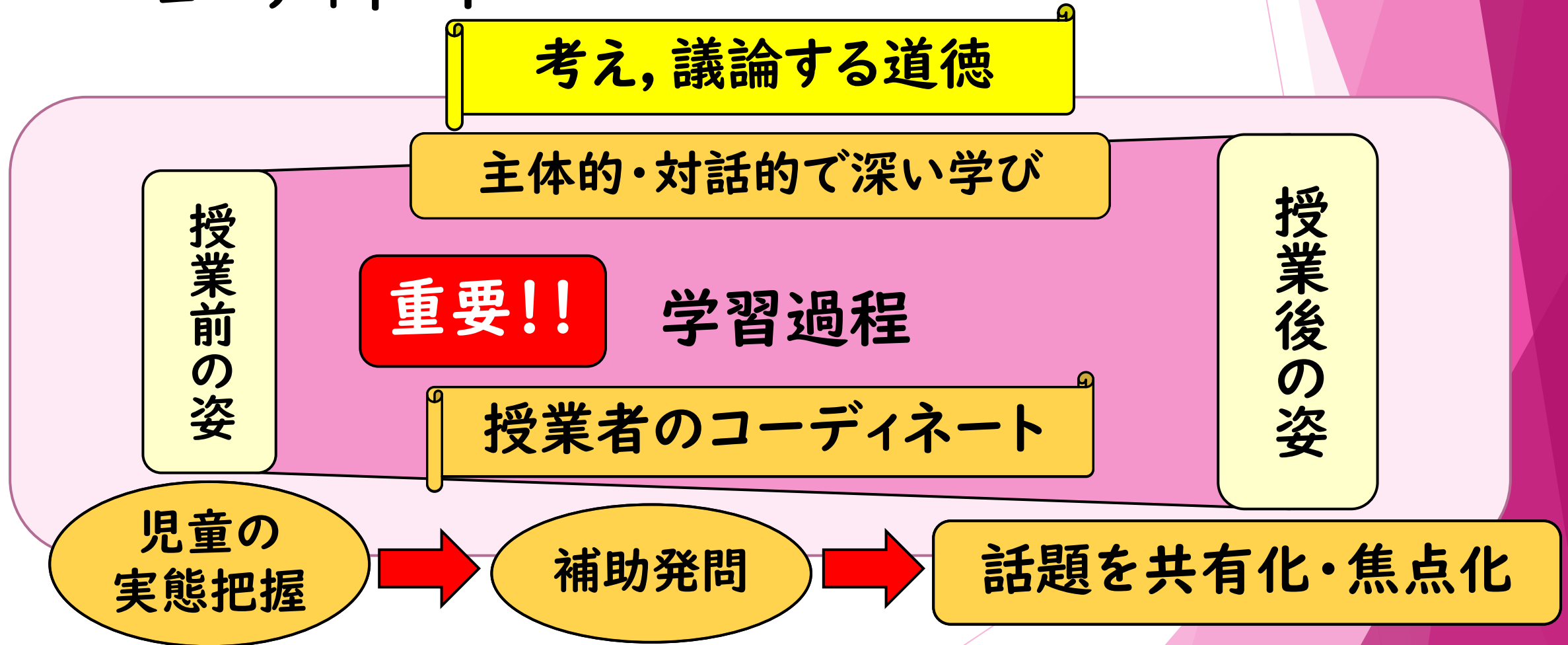
### (2) 「主体的・対話的で深い学び」になる コーディネーター

昨年度までの課題より

「教材分析シート」や「フローチャート図」にとらわれすぎると、  
児童の発言を誘導したり、その発言を求めたりする可能性がある。

## 2. 教師の役割

(2) 「主体的・対話的で深い学び」になる  
コーディネーター



## 2. 教師の役割

(2) 「主体的・対話的で深い学び」になる  
コーディネート

+ 的確なタイムマネジメント

### 補助発問

⇒ 主発問だけでは補えない部分を考えさせるときに使う。

- ・ 理由や根拠を出す補助発問
- ・ 揺さぶりをかけて視点の転換を図る補助発問 等

児童の反応を見取り, その場に合った適切な補助発問をして,  
「考え, 議論する道徳」の授業へとコーディネート

## 2. 教師の役割

### (3) 道徳科の評価

#### ①個人内評価としての見取り

個々の内容項目ごとではなく、大くくりなまとまりを踏まえた評価とすることや、

他の児童との比較による評価ではなく、児童がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うことが求められる。

文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(2017年)

# 学習評価の種類

## 目標に準拠した評価

- ・学習指導要領に示す目標に照らしてその実現の状況を見る。
- ・平成12年要録通知以降は、観点別学習状況の評価と評定の両方を、目標に準拠した評価として実施。
- ・評価規準は各学校が設定。
- ・絶対評価とも言われてきた。

## 集団に準拠した評価

- ・学級又は学年における位置づけを見る。
- ・相対評価とも言われる。
- ・平成12年通知以降は、目標に準拠した評価に改められた。

## 個人内評価

- ・観点別学習状況の評価や評定には示しきれない子どもたち一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの。
- ・従来の指導要録では、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」において示される。

## 観点別の学習状況の評価

- ・各教科・科目の目標や内容に照らして、生徒の実現状況がどのようなものであるかを、観点ごとに評価し、生徒の学習状況を分析的に捉えるもの。

## 総括的な評価としての評定

- ・観点別の学習状況の評価をもとに、総括的な学習状況を示すため、5段階(小学校は3段階。小学校低学年は行わない)の評定を行う。
- ・平成12年より、観点別の学習状況だけでなく、評定についても目標に準拠した評価とすることとした。
- ・各観点別の評価を評定においてどのように総括するかは、各学校の工夫が求められる。

**道徳科の学習評価は、  
児童生徒がいかに成長したかを  
積極的に受け止めて認め、励ます  
個人内評価として実施**

道徳教育指導者養成研修ブロック説明会 行政説明資料  
「道徳教育の抜本的充実に向けて」(平成29年度)

## 2. 教師の役割

### (3) 道徳科の評価

#### ① 個人内評価としての見取り

##### 評価の視点

- ・ 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか
- ・ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか

文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(2017年)

## 2. 教師の役割

### (3) 道徳科の評価

#### ① 個人内評価としての見取り

#### 評価の視点

- ・ 道徳的価値のよさや難しさを感じている。
- ・ 問題を自分事として受け止めている。
- ・ 自分のこれまでの体験から、感じたり、考えたりしたことを想起して考えている。
- ・ 物事に対して、一つの見方だけではなく、様々な角度から捉えて考えている。
- ・ 道徳的価値のよさに気付き、これからの自分の生き方に生かそうとしている。

等

浅見哲也著『こだわりの道徳授業レシピ』東洋館出版社(2020年)

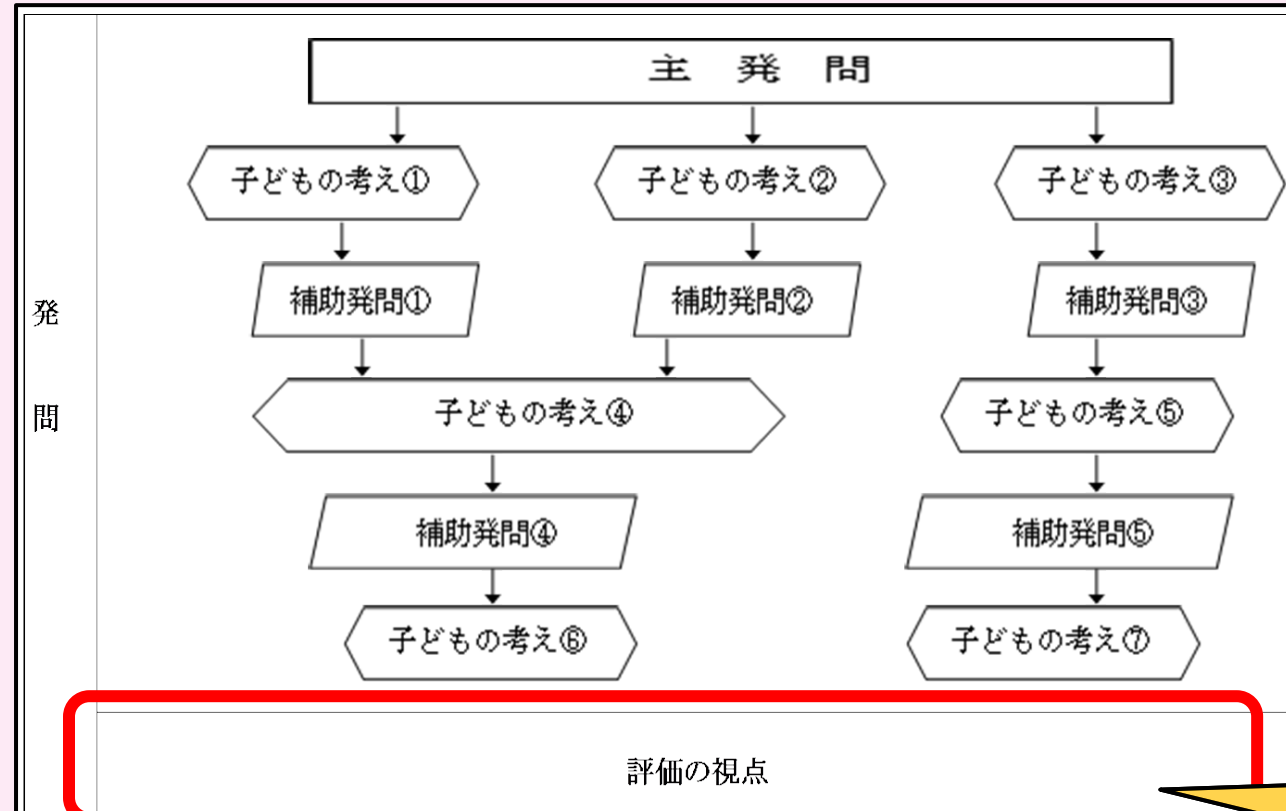




## 2. 教師の役割

### (3) 道徳科の評価

#### ① 個人内評価としての見取り



評価の視点を基に  
フローチャートに評価の視点を  
具体的に記すことで、  
より児童の思考の流れと学習  
状況の見取りを関連して想定  
しやすくなるを考える。

評価の視点を組み込む



## 2. 教師の役割

### (3) 道徳科の評価

#### ①個人内評価としての見取り

点ではなく、線で見取る

#### 評価の方法

- ・発言や表情
- ・書く活動の工夫(色を変えての記述・思考ツールの活用)
- ・指導者による聞き取り 等

記録物や実演自体を評価するのではなく、  
学習過程を通じていかに道徳的価値の理解を深めようとしていたか、  
自分との関わりで考えたかなどの  
成長の様子を見取るためのものであることに留意が必要である。

文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(2017年)

## 2. 教師の役割

### (3) 道徳科の評価

#### ②授業に対する評価

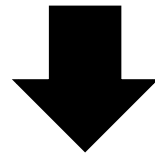
- ア 学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、自己の生き方について考えを深められるよう適切に構成されていたか。また、指導の手立てはねらいに即した適切なものとなっていたか。
- イ 発問は、児童が多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
- ウ 児童の発言を傾聴して受け止め、発問に対する児童の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。
- エ 自分自身との関わりで、物事を多面的・多角的に考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
- オ ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための指導方法は、児童の実態や発達段階にふさわしいものであったか。
- カ 特に配慮を要する児童に適切に対応していたか。

### 3. 今年度の研究の進め方

#### (1) 検証方法

##### 授業評価

ウ 児童の発言を傾聴して受け止め、発問に対する児童の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。



映像資料等を活用し、**児童・指導者の言動をもとに検証**する。  
指導者の言動の根拠を児童の言動から明らかにしていく。

# 3. 今年度の研究の進め方

## (1) 検証方法

### めざす子ども像

#### ○主体的な学び

- ・ねらいとする道徳的価値を自分との関わりで考える。
- ・問題意識をもって、学習に取り組んでいる。
- ・答えが一つではない問い（道徳的問題）に対して、粘り強く自分なりの答えを見出そうとしている。 等

発問・指導法の工夫

問題の焦点化  
・共有化

### 3. 今年度の研究の進め方

#### (1) 検証方法

##### めざす子ども像

##### ○対話的な学び

- ・ 話し合い活動を通して、多面的・多角的に考える。
- ・ 他者の考えと自分の考えを比較し、よりよい考えを見出そうとしている。
- ・ 他者の考えを取り入れて、自分の価値観を再構築している。等

話し合い活動の工夫

考えの視覚化・共有化

# 3. 今年度の研究の進め方

## (1) 検証方法

### めざす子ども像

#### ○深い学び

- ・ねらいとする道徳的価値の理解を基に、問題の解決方法や納得解を見出そうとしている。
- ・自己の(人間としての)生き方についての考えを深めている。等

指導の明確な意図をもった、**授業のコーディネート**

※ 主体的な学びや対話的な学びが「深い学び」へとつながっていなければ、「活動あって、学びなし」になり、「考え、議論する」授業とは言えない。

高学年の実践  
第6学年 「最後のおくり物」

6年

主題名 「深い思いやり」 B-7 「親切・思いやり」

教材名 「最後のおくり物」

(日本文教出版「生きる力6」)



## あらすじ

俳優になることを目指す少年ロベータが主人公で、ロベータは貧しく、養成所に通うことができない。養成所の窓から練習を熱心に見る姿に、養成所の守衛ジョルジュじいさんは送り主を告げずにロベータに月謝を送り続け、そのおかげでロベータは、養成所に通うことができる。

しかし、ある時から月謝が届かず、そのことをロベーター又は恨みに思う。後にジオルジュじいさんが体を壊してまで月謝を工面してくれていたことを知り、ロベーターはおじいさんの看病をし、ジオルジュじいさんが息を引き取る前まで月謝を送り続けてくれた理由を知り決意を新たにする。

## 内容項目 B-7 親切、思いやり

〔第1学年及び第2学年〕

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

〔第3学年及び第4学年〕

相手のことを思いやり、進んで親切にすること。

〔第5学年及び第6学年〕

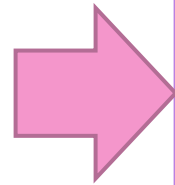
誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。

ねらい

「親切にされる側の喜びだけでなく、  
相手の立場に立って親切にする側にも  
喜びがあることに気づくことができる。」

# ねらい

- ・ 親切にされた側は嬉しいと感じる。
- ・ 親切にしたいけど、周囲の反応を気にして、行動に移せない。



- ・ 相手の立場に立って親切にする側にも喜びがある。
- ・ 周りにどう思われるのかではなく、相手の立場に立って親切にする。

授業前の児童の様子と  
見方・考え方

授業を通して高めたい  
見方・考え方

# 「主体的・対話的で深い学び」になる コーディネーター

① 導入の工夫

② 板書の工夫

# ①導入の工夫

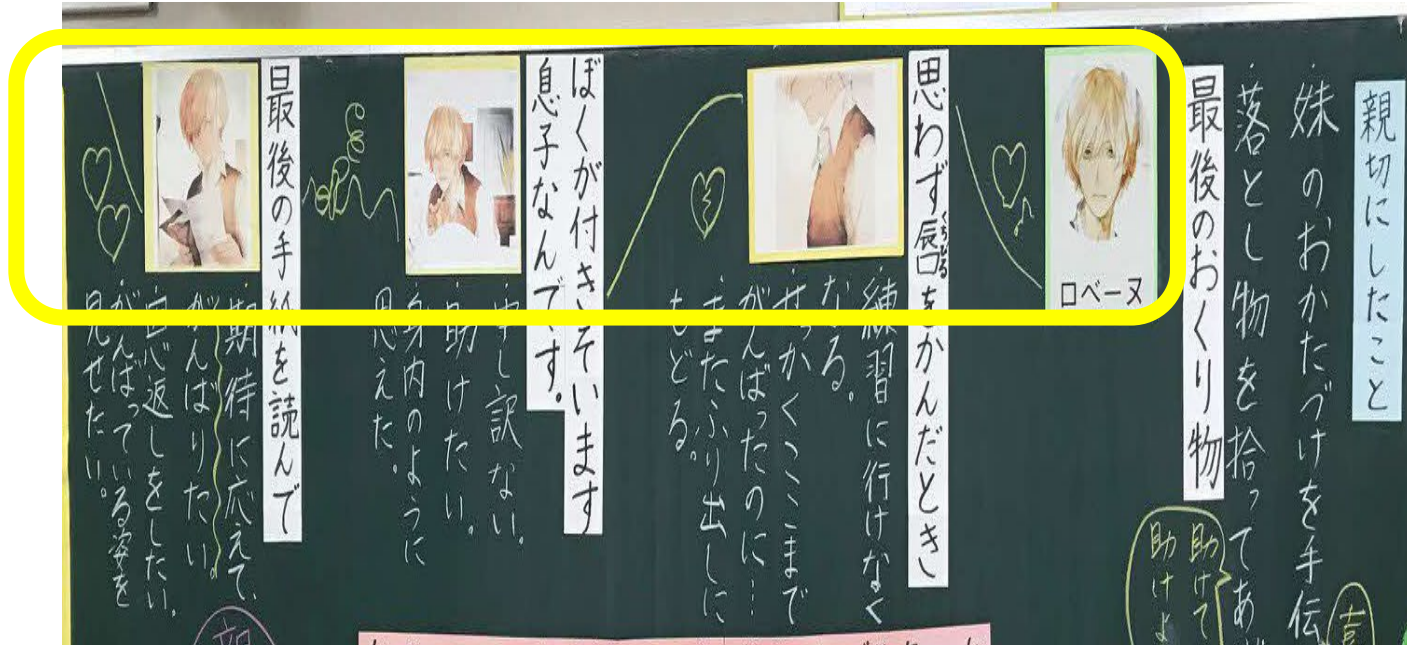
本時のねらいとする価値「親切」

親切にしたこと



本時で深く考える「親切にした側」の立場の  
気持ちに気づきやすくなる。

## ②板書の工夫



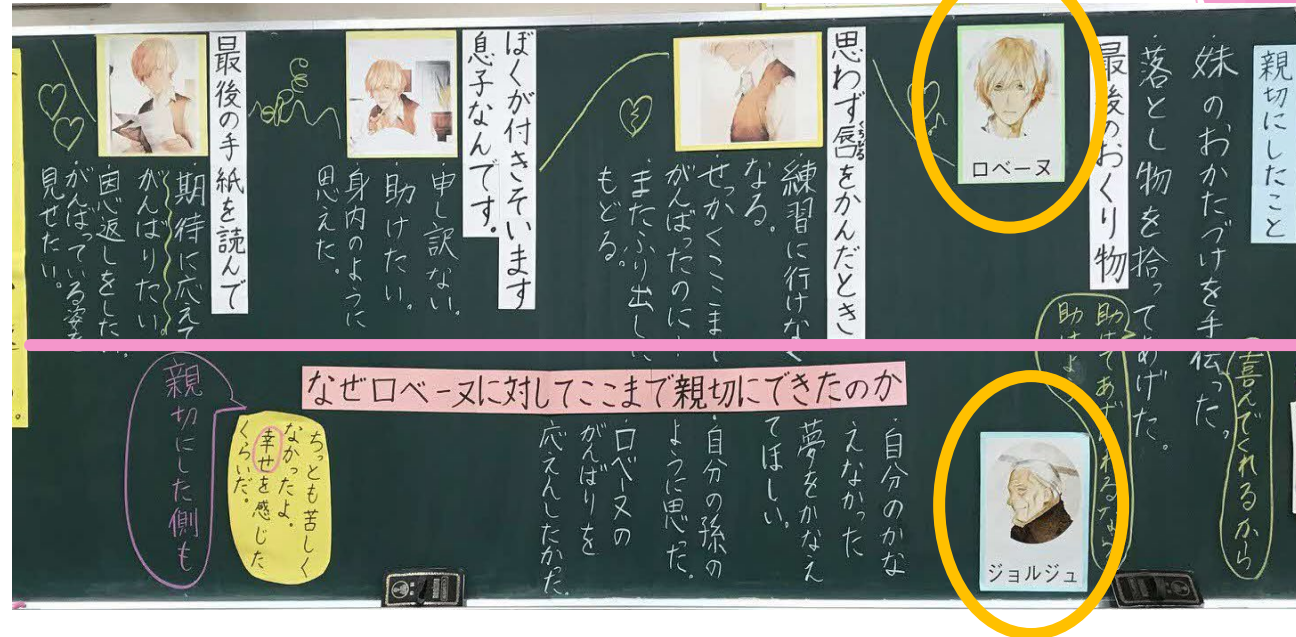
- 親切にされた側である  
ロベータの感情の変化を  
心情曲線で表す。



限られた時間での  
状況把握、心情理解  
をしやすくする



## ②板書の工夫



- ・ 親切にされた側である  
ロベエヌ  
親切にした側である  
ジョルジュじいさん  
二人の考えを上下で分けて  
板書する。



違う立場を考える  
ということ  
視覚的にも理解  
しやすくする

# 学習の最後に…

親切について本時の活動を通して気付いたこと

人に親切にすると，自分も気持ちよくなれる。

相手に気付かれなくても親切にしていくことがすてき。

自分が大変なことをしてまで，人の力になることは難しい。でも，自分にできることから始めていきたい。

# 成果と課題

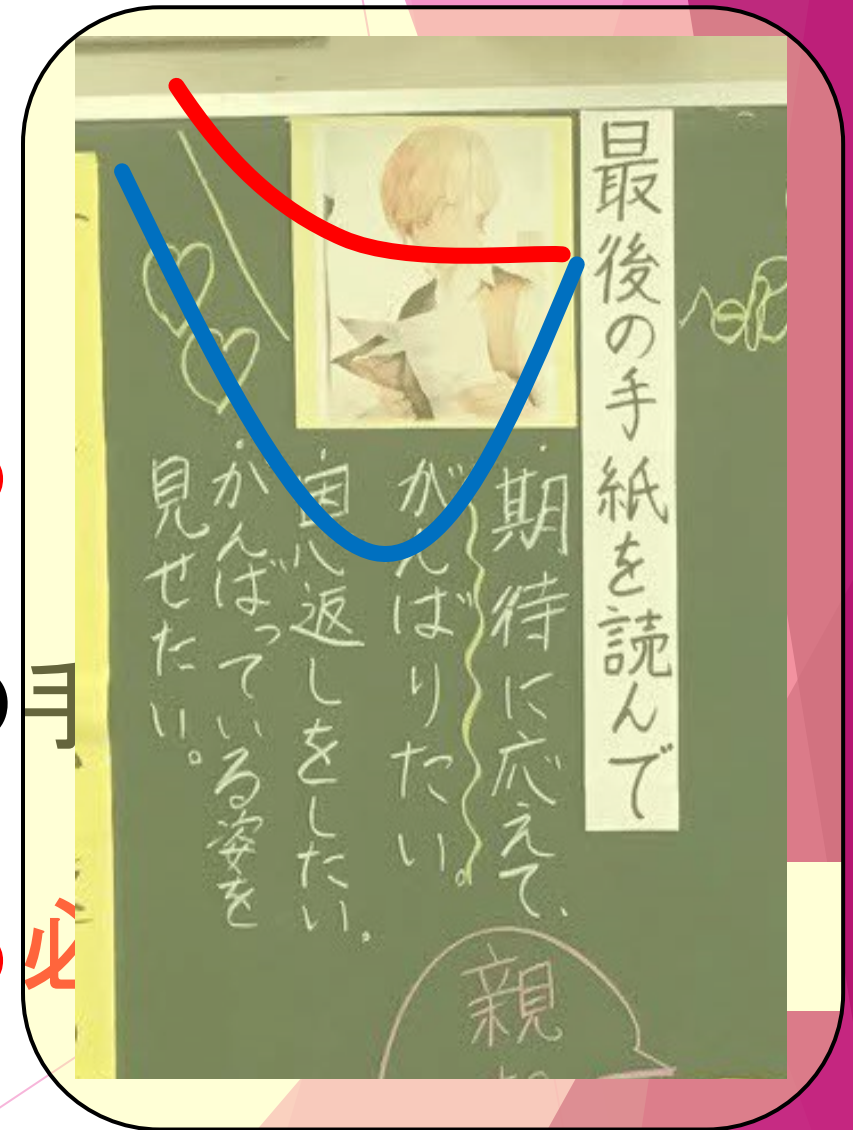
## 【成果】

- ・ 導入での「親切にしたこと」への想起
- ・ 読み取りの手立て
- ・ 考える視点を提示しての振り返り

# 成果と課題

## 【課題】

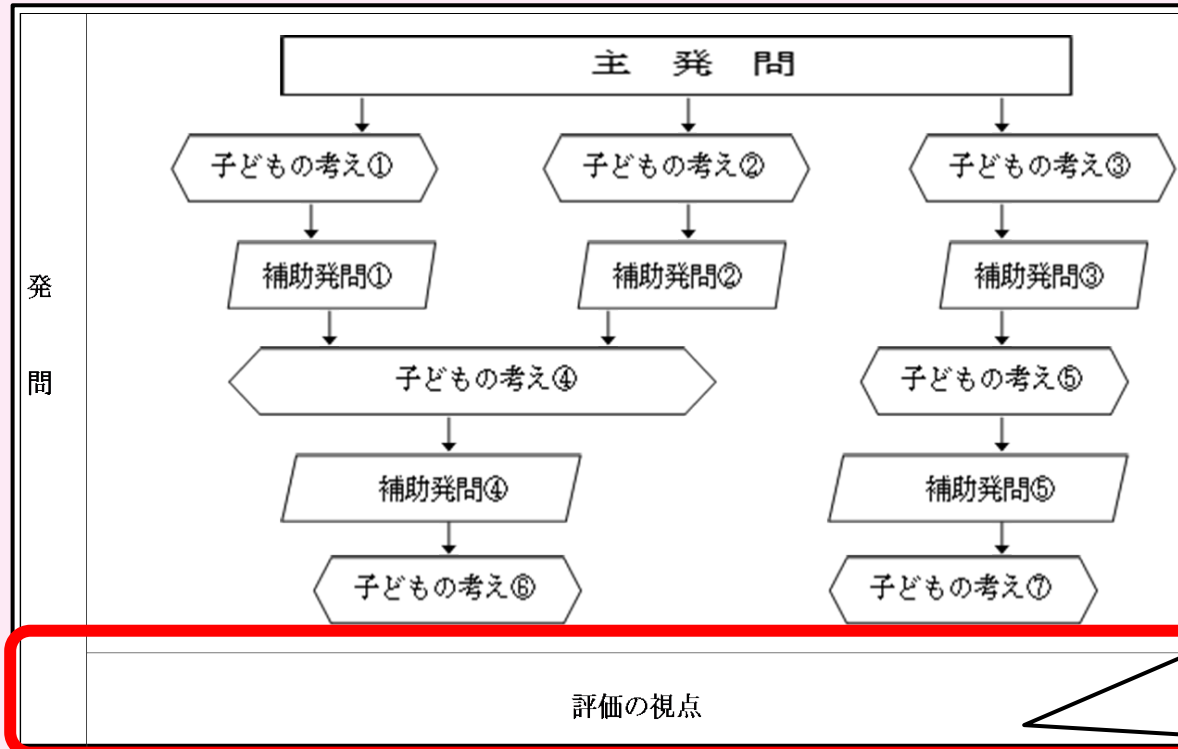
- ・ 心情曲線の作り上げ方
  - 児童の意見から作り上げる
- ・ 意見交流を活発にするための方法
  - ペアやグループ活動をする



# 4. 成果と課題

## (1) 成果

### ○フローチャート図の効果的な活用



- 適切な補助発問
- 問題の共有化・焦点化

評価の視点を組み込むことで、児童の学習状況の見取りがしやすくなった。





## 4. 成果と課題

### (1) 成果

#### ○的確なタイムマネジメント

4. 道徳ノートを書く。  
(8分)

○自分で正しいと思うことはした方が、  
いいのは、なぜでしょう。

- ・みんなが気持ちよく生活できるから。
- ・よくないことがなくなって楽しい学校になるから。
- ・自分の気持ちがすっきりするから。
- ・みんなの気持ちもすっきりするから。

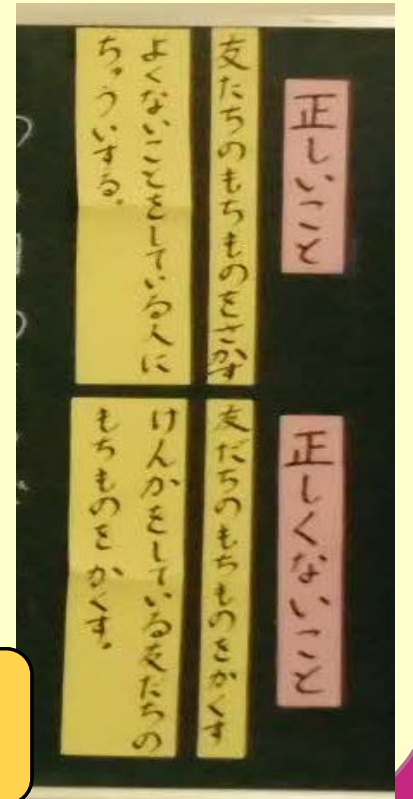
・道徳ノートにまとめ  
せる。

## 4. 成果と課題

### (1) 成果

#### ○学年や内容項目に応じて効果的な学習活動

##### 役割演技や動作化



##### クイズやアンケート



## 4. 成果と課題

### (2) 課題

- 児童や学級の実態に応じたコーディネート
- 発問構成のみならず、指導法や板書の工夫、時間配分等を含めてのコーディネート

令和4年度

**「特別の教科 道徳」(道徳科)の指導の充実**  
～「考え,議論する道徳」の実現のための教師の役割～

大阪市小学校教育研究会 道徳部